



# 至誠の泉

甲斐市立双葉中学校  
学校だより  
発行 校長 奥石 信  
令和6年度 第3号  
2024. 5. 27

## 豊かな体験を通して豊かな心を、校外学習(1年・2年)が終わりました。



### < 2年生県内めぐり >

本校2年生が5月16日(水)・17(金)日の1泊2日で県内めぐりを実施しました。1日目の午前中はぐずついた雨混じりの天気でしたが、午後から天候が回復し、2日目も好天に恵まれました。1日目は、方面ごとに4台のバスに分乗し、県内各地の名所や博物館等の施設の見学や自然の中を散策したり、体験を行ったりしました。2日目は4クラスを2グループ(1・2組と3・4組)に分け、忍野八海、富士湧水の里水族館、富士山世界遺産センター、ふじさんミュージアムを見学し、富士山の自然や歴史等について学習しました。私も団長として同行しましたが、改めて、山梨の魅力を確認しました。



週明けの月曜日に行った解団式のあいさつで「2日間を通して山梨の魅力を発見しましたか?」という問いかけをしたところ、多くの生徒が手を挙げてくれました。生徒にとっても「ふるさと山梨」について考えを深める良い機会となったようです。また、今回の県内めぐりは、2年生にとって中学校に入って初めての宿泊行事となりました。宿舎の「花いさわ」では大広間で学年全体で食事をとりましたが、どのテーブルも会話が弾み、笑顔と笑い声が絶えない、楽しい時間になりました。

### < 1年生校外学習 >

本校1年生が5月17日(金)に日帰り北杜市方面に校外学習に行ってきました。1年生にとっては入学して初めて学校を離れての活動となりました。当日は天候に恵まれ、自然豊かな環境の中で、午前中はクラインガルデンでのほうとうづくり、午後は場所を八ヶ岳農業実践大学校に移して、グループに分かれて、畑仕事、ジャムづくり、チーズ・バターづくり、木工、炭焼き、林業体験等の学習を行いました。



私は2年生の県内めぐりに同行していたため実際の活動の様子は見られませんが、子どもたちの感想を見ると、「普段食べている野菜が作っている人たちの苦労があって私たちが食べることができていることがわかった」、「ほうとうづくりは難しいこともあったけれど、みんなで作ったほうとうはめちゃくちゃおいしかった」、「森づくりを通して、私たちが生きていくために必要な酸素や水や紙などが森から作られていることを知り、森や自然を大切にしていこうと思った」など、体験を通して、多くのことを感じた様子が伝わってきました。

### < 豊かな体験を通して豊かな心を >

本校では、今回の校外学習をはじめ1年間を通して、様々な体験活動を用意しています。それは、今の子どもたちには、人や自然、芸術、文化、歴史、社会等と直接関わる場を数多く用意し、体験活動を通して、「社会を生き抜く力」や「豊かな人間性」を育てることが必要だと強く感じているからです。体験それ自体が意義深いことですが、それと同じくらい体験を振り返り、自分で感じたことや考えたことを整理すること、そして、体験から考えたことを交流することにより一人一人が考え方を広げたり深めたりする場面を設けることが大切だと思っています。

3年生も含め、これから生徒たちは、総合的な学習の時間等を使って、まとめの学習に入っていきます。体験から得たことを自分の言葉でまとめる作業を通して心を成長させ、これからの自分の生活を豊かにしていくための物の見方を獲得し、具体的な行動に移していくことを願っています。

